

秋田の土地改良

4

2009・APR

あすを拓く大地

きざらめく疏水

たくましき郷



みどり
水土里ネット秋田

目次

新任のごあいさつ 会長 高貝久遠……………	2	平成20年度農用地等集団化関係優良地区表彰……………	13
新任の挨拶 専務理事 黒子高夫……………	3	平成20年度雄物・米代川地域広域基盤確立推進協議会…	14
第51回本会通常総会……………	4	水土里ネットIT化(通信情報網)に向けた支援の拡充…	15
平成21年度県の土地改良関係課事務分掌……………	9	連合会日誌・第50回全国土地改良功労者表彰式 ……	16
平成21年度本会機構図及び職員配置……………	11	会員だより・水土里ネット秋田の動向……………	17
秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会 総会…	13	インフォメーション……………	18



新任のごあいさつ

秋田県土地改良事業団体連合会

会長 高 貝 久 遠

野山の草木が日ごとにその青さと勢いを増し、田んぼに早苗が愛らしい姿を並べるのも間もなくです。

会員の皆様には日頃、本会の運営に格別のご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

去る、3月19日開催の第51回通常総会及び理事会において、前高畑会長の後任として選任頂きました。

関係各位のご協力、ご厚情をこれまで同様、心からお願い申し上げます。

昨年度、創立50周年記念大会が盛会裡に開催されましたが、本会の沿革、歴史を見るにつけ多くの事業を通じて、秋田県農業に大きく貢献してきたことが理解できます。

これは歴代の会長の功績は勿論であります、本会の職員が地域に足を運び、会員の皆様をはじめ、地域の農業振興関係者と一体となって、日頃の業務を通じて培った知識、技術を大いに発揮した結果によるものと考えます。引き続き、農業農村整備事業推進のため役職員が一丸となって、全力を傾注して取り組んで参る所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

今、私どもの生活や暮らしを支える経済については、テレビ、新聞等で報道のとおりアメリカのサブプライムローンから端を発し、リーマンブラザーズの破綻によって百年に一度という金融恐慌の波が大きく押し寄せております。その影響下で円高不況、それに伴う企業の倒産、あるいはリストラ、雇用悪化という大きな影響を我が国も被ってこうした未曾有の経済不況は、国、県及び市町村に大きな税収減をもたらしております。

このような経済事情から、本会の事業計画とそれに伴う予算運営が、益々厳しさを増すものと思われまます。

会員の皆様におかれましては、かかる事情をご理解の上、更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

さて、本年度の新たな事業として情報化社会に向け、改良区の情報基盤の整備等に取り組むことといたしました。

また、喫緊の課題となっている我国の雇用問題については、公的機関としての社会的貢献を果たすという観点から新規に雇用を創出し、本会独自に改良区の業務であります維持管理計画書の作成、農地の有効利用に資する台帳の作成及び水利施設点検調査業務の一部を改良区に代わって、実施することとしております。

本会が農村あるいは農業にとって、社会的に大きな責務を負っていることはご案内のとおりであります。

その責務の重大さを真摯に受け止め、秋田県農業再編発展のために会員の皆様と共に頑張る覚悟であります。

今、時代の流れとともに求められているソフト事業にも積極的に取り組んでいかなければならない時代に到達いたしました。

今後とも県当局、市町村、各土地改良区から信頼され、そして頼られる土地連として頑張ることを皆様にお誓いを申し上げまして、ご挨拶といたします。



新任の挨拶

専務理事 黒子 高夫

会員の皆様には、日頃から農業農村整備事業の推進は元より、本会の業務運営につきまして特段のご指導、ご支援を頂いておりますことに厚く御礼を申し上げます。

私こと、第51回通常総会において専務理事に選任され、過日着任いたしました。本会の発展のため、微力ではありますが全力を尽くして参りますので、ご支援のほど宜しくお願いを申し上げます。

現在、昨年秋の米国発金融不安に端を発した世界的な経済不況にあり、日本では輸出依存型から内需拡大型へと経済構造をシフトすることが求められ、福祉介護、環境対策そして農業などがこの一翼を担うことを期待されており、特に農業は我が国の自給率向上や、担い手の高齢化等の観点から新規雇用が望める分野でもあります。

こうした中、今年からスタートする「耕作放棄地対策」は、米粉、飼料米など水田フル活用に資する他、既に地域ブランド作目が芽生え、販売ルートも形成され、その生産拡大を目指す生産組織にとっては、新規の雇用も併せて発生するなど、地域を明るく元気にするタイムリーな事業であると思っています。この事務局を本会が担っており、この活用についてご相談に応じますので宜しくお願いたします。

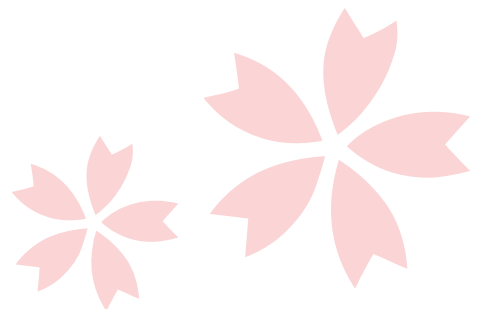
また、土地改良施設の維持管理についてであります。水田農業の経営所得安定対策では集落営農の組織化と、その法人化を目指し経営体の育成が進められており、将来的には地域集落

の農地はこの経営体へ徐々に集積されるものと思います。そこで喫緊の課題はこの経営体等が使用する用排水路等各施設の補修更新を行う場合の負担であります。

農地・水・環境保全向上対策では農業を持続することは、その下流域の非農家も含む住民の環境を守ることにつながることから、本対策は「環境支払い」とも呼ばれています。この考え方を更に進め、経営体や個々の農家の施設更新にかかる事業費負担を少しでも軽減することが持続的営農の継続に繋がることから、こうした現場の生の声を関係機関へ伝え、諸制度の見直し、新たな負担の枠組みについて提言していきたいと考えております。

農業農村の振興を目指す私どもにとって、このように食料自給率の向上を基本に、経営の複合・多角化による農家・経営体の所得の増大を図るため、各種事業を引き続き適時・適切に展開することが重要であると考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、会員皆様の益々のご健勝・ご多幸をお祈りいたします。



第51回

本会通常総会

新たな雇用創出へ 「水土里ネット支援対策事業」を創設!



◆新会長には、高貝氏を選任

3月19日、本会第51回通常総会が県社会福祉会館(秋田市)において会員132名(内委任状42名)が出席、来賓として佐藤文一県副知事、森多可志東北農政局次長、大野忠右エ門県議会議員、二田孝治衆議院議員、鈴木陽悦参議院議員、松浦大悟参議院議員、佐藤文隆県農林水産部長ほか関係者多数が臨席のもとに開催された。

総会では高畑会長が「農村には安全で安心な食料を生産し、国民の命を守る役割がある。そのために農地や水路の適切な保全が不可欠。水土里ネットとして社会的な役割をしっかりと果たして行きたい(詳細別掲)」と挨拶、功績者表彰として優良10団体及び個人19名の表彰が行われ、続いて来賓の方々が祝辞を述べられた。

議事では、議長に鳥海町笹子土地改良区理事長佐藤弘志氏を選出し、平成19年度事業報告及び一般会計収支決算、平成20年度一般会計収支補正予算(理事会専決処分)、平成21年度事業計画及び一般会計収支予算、定款及び監査細則の一部改正などが提出され、審議の結果、提出案件は承認された。

事業計画では、農地の現状を把握する地理情報システムを活用した情報インフラの整備や、耕作放棄地対策協議会などの事務局運営を行うほか、新たな雇用創出対策として「水土里ネット支援対策事業」を創設し、土地改良区に代わって農地台帳や維持管理計画書の作成業務を行う。

また、任期満了に伴う役員選任も議決され、

新たに理事13名、監事3名が選任された。最後に、三浦専務理事により決議文(別掲)の朗読があり、満場の承認を得て採択され、総会は終了した。

また、総会終了後に開催された理事会で、会長の互選が行われ、新会長に高貝久遠氏(秋田県田沢疏水土地改良区理事長)、副会長に工藤久兵衛氏(井川町土地改良区理事長)と三澤敏行氏(北秋田市綴子土地改良区理事長)を選任した。

なお、今回表彰された土地改良功績者表彰(優良団体、個人)の受賞者は次のとおり。

【団体表彰：土地改良区】◇金章＝大館市南、秋田県仙北平野東部◇銀章＝大館市釈迦内、雄和中央、鳥海町笹子◇銅章＝大館市十二所、山本郡岩堰、男鹿市五里合、秋田市豊岩小山、秋田市上北手小山田

【個人表彰】吉田修、小笠原弘、虻川良逸、小栗正春、三浦宗二郎、鎌田精一、堀井金義、川村涼子、藤原博志、関谷真貴子、正木正一、佐藤實、轟田恭悦、高橋周作、加藤正孝、小柳貞子、伊藤竹夫、松井久美子、阿部修悦



第51回通常総会 会長挨拶

高 畑 進

会員の皆様には年度末の何かとご多用の中ご
参会を頂きまして、誠にありがとうございます。

また、ご来賓の皆様方には万障をお繰り合
せの上ご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。

皆様には日頃、農業農村整備事業の推進並び
に本会の業務運営に、特段のご指導・ご支援を
頂き、この席をお借りして、厚くお礼を申し上
げます。

この後、引き続き表彰が行われますが、受賞
される土地改良区並びに役職員の方々はいずれ
も農業農村整備事業の推進に尽力され、地域の
発展に優れた功績を上げられた方々であり、改
めて心から敬意を表しますと共に、引き続き新
業発展に特段のご尽力賜りますよう祈念申し上
げます。

さて、平成20年度は、本会の歴史に長く残る
行事がございました。申し上げるまでもなくそ
れは、創立50周年記念式典と全国土地改良大会
秋田大会が開催されたことであり、私共はこれ
を新たな出発点として、先人の築かれた数々の
偉業を糧とし、「**あすを拓く大地 きらめく疏水
たくましき郷**」あ・き・たの実現に向け、会
員並びに関係機関皆様との連携を深めながら更
なる努力をしていく決意を表明したところで
あります。

次に**20年度の財政収支の状況**を申し上げます
と、骨格をなす受託事業について当初、昨今に
おける新規事業の減少や国・県の契約方式の見
直しなどから事業費で前年度比約1億5千万円
の減少を見込み、単年度収支で8千8百万の赤
字を覚悟致しておりましたが、事業費で約2億
2千5百万の増加となり、当期収支差損後約1

千4百万円に留めることができるものとみてお
ります。

受託事業を巡る環境は今後とも厳しくなるも
のと予想されますので、新たな分野への進出も
視野に入れながら更なる技術力の向上と効率的
な運営を心がけていく必要があるものと存じて
おります。

次に**21年度の事業計画**等につきましては、後
程議案として詳細申し上げますが、二、三につ
いて申し上げたいと思います。

一つは、目下、国、県及び市町村が推し進め
られている**雇用促進への協力**でございます。

ご承知のように、この背景には極めて深刻な
世界規模での経済不況があり、本会においても
多少なりともお手伝いをとの考えから県の委託
を受け、この2月から「**ため池ハザードマップ
の作成**」業務に8人を雇用し、これに充ててお
ります。



続いて、新年度においては、改良区で要望の
強い**維持管理計画書の作成、農地台帳作成及び
水利施設の点検調査業務**を進めるため本会で5
人を雇用することとし、今後3年間実施するた
めの財源として、財政調整基金から毎年1千万

円を繰り出すことにしております。

更に、**水土里情報関連業務及び農業用水水源地域保全対策事業**等補助事業を活用するなど20年度から24年度までの5年間で総勢64人の新規雇用を図る計画であります。



次に、**業務執行体制の強化**についてであります。

昨年の総会におきまして、理事の定数減と員外理事を2名とするなどの定款変更の議決を頂き、それに基づいて本総会で、役員改選議案を提案しております。

本会の運営を取り巻く状況は、年間の受託額で見てもピーク時の平成10年の約37億円に対して19年度には約9億円にまで減少して来ており、収入に対する人件費比率も22%から68%にまで高まるなど非常に厳しさを増しております。

こうした状況を踏まえ、対策の一つとして職員定数管理計画の基に平成15年度から定年前の希望退職制度を採った他、17年度には準職員を全員嘱託職員に切り替え、更に、18年度からは退職勧奨制度を設けるなど組織のスリム化と運営の合理化を図って参りました。その結果、現在職員数は、計画どおり52名の体制となっております。こうした中、昨今、地球規模での食料、人口、環境問題が深刻化する中で農業農村には安全で安心な食料の安定的な供給により広く国民の命を守るとともに、農業用水やバイオマスなど地域資源の活用による循環型社会の構築、更に人と自然、都市と農村の共生など新たな役割が求められており、農業農村がこうした役割を適切に果たしていくためには、農地や農業用

水など地域共有の貴重な資源の適切な整備保全を図るとともに、その任に当たる水土里ネットの活性化が不可欠となって来ております。

更に、本会は、3年目を迎える農地・水・環境保全向上対策協議会の会長職と事務局を担っておりますが、更に、新たに今後の大きな課題となる耕作放棄地対策地域協議会の会長職と事務局をも担うことになるなど食料自給率向上を目指した幅広い農政の一翼を担う立場にも立っております。

本会ではこうした重責を着実に果たして行くべく、業務運営体制の強化と実務に当たる職員の志気の高揚を図るという観点から**常勤理事の二人制**を採用するとともに、その内一人についてはプロパー職員からの登用を図ることとし、そのための議案を提案致しておりますので、会員皆様の特段のご理解をお願い申し上げます。

最後に、私こと、この3月の任期を以て本会理事を退任することといたしております。

顧みて、昭和59年に理事に就任、続いて10年後の平成6年から今日までの15年間、会長として、会員皆様の負託に応えるべく、農業農村整備事業の推進に知識経験豊かな役員並びに卓越した技術を有する職員の皆様と一緒に仕事をさせて頂いたということは、本当に幸せなことであったと心から感謝致しております。



また、この間、国、県、市町村並びに土地改良区の皆様から特段のご指導、ご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

特に、県及び県議会御当局、本日は県の佐藤副知事と佐藤農林水産部長外、幹部の皆様そし

て県議会からは大野議長さん始め多数の県議会議員の皆様のご臨席を頂いておりますが、これまで県の農業農村整備事業の各般に渡る執行予算について、特に来年度からは画期的とも言える農家負担ゼロのほ場整備を創設して頂くなど全国に誇りうる手厚い措置を講じて下さったことに、重ねて心からお礼を申し上げる次第であります。

時あたかも本会では、創立50年の節目を迎え、これを新たな出発点として今後に向けた決意を新たにしたところでありますが、新しい体制のもとで大きな転換期を迎えた農業農村の更なる前進のため特段のご尽力下さるよう祈念申し上げます。

提案申し上げました各議案について、よろしくご審議、ご決定賜りますようお願い申し上げますとともにご来賓皆様には今後とも引き続き、ご指導、ご支援賜りますようまた、皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念を申し上げて、開会に当たってのご挨拶とさせていただきます。



— 決 議 —

昨年11月創立50周年の記念すべき年を迎えた本会は、新たな時代の農業農村の発展に向けて、役職員が決意を新たに歩み出したところである。

地球規模での人口増加や気候変動、バイオエネルギーへの転換及び新興国の旺盛な食料需要等に伴う世界的な穀物の需給逼迫と価格高騰は、食料の安定確保にとって大きな不安定要因となっている。その中で、穀物を中心とする我が国の食料供給力の強化が叫ばれているが、農産物価格の低迷、農村の過疎化・高齢化の進展などにより、耕作放棄地は拡大し、農村地域は疲弊しつつある。

このような状況の中で、本県農業の体質強化を図りながら、生産基盤である農地・農業用水等を質的・量的に良好な状態で確保し、次世代に継承していくことは、我々水土里ネットが担っている重要な使命である。さらに国、県及び市町村の支援を得ながら、これまで培ってきた経験と技術を活かし、活力ある農村社会の構築と本県農業の発展に積極的に貢献していく覚悟である。

このため下記事項の実現を図るため、一致団結して、農業農村整備を推進していくことを本総会の名において決議する。

記

- 一、安全・安心な食料の供給、食料自給率の向上及び農業・農村が持つ多面的な機能の発揮に不可欠な農地や農業用水の整備・保全並びに農村の振興に必要な施策として、国と地方の適切な役割分担と支援のもとで、農業農村整備を着実に推進していくこと

- 一、食料供給の最も重要な基盤である基幹的農業水利資産を次世代に引き継ぐため、農業農村整備事業を着実に推進するとともに、老朽化が進む農業水利施設の計画的な更新と適切な保全管理を推進するなど、国はその責務を十分に果たすこと
- 一、耕地利用率の向上と面的集積に資する大区画化・汎用化等の基盤整備や、農地情報のデータベース化等に取り組んでいくこと
- 一、農村協働力を活かした地域資源や環境の適切な保全と質的な向上を図るため、農地・水・環境保全向上対策に水土里ネットとして主体的に取り組んでいくこと
- 一、頻発する災害への対応力を強化し安全・安心で快適な農村づくりと定住化を図るため、農地・農業用施設の防災・減災対策と耕作放棄地の解消・中山間地域の総合的振興等に取り組んでいくこと
- 一、水土里ネットの名に相応しい役割と責務を十分認識し、時代の要請に応じた地域づくりの拠点としての機能を果たすべく、関係者が一丸となって「二十一世紀土地改良区創造運動」や各種施策に邁進していくこと

平成21年3月19日

秋田県土地改良事業団体連合会 第51回通常総会
(水土里ネット秋田)

秋田県土地改良事業団体連合会役員名簿

平成21年4月1日

役職名	氏名	所属団体名	役職名	氏名	所属団体名
会長	高貝 久遠	秋田県田沢疏水土地改良区 理事長	理事	柴田康二郎	秋田県雄物川筋土地改良区 理事長
副会長	工藤久兵衛	井川町土地改良区理事長	理事	由利 傳	湯沢市中央土地改良区理事長
副会長	三澤 敏行	北秋田市綴子土地改良区 理事長	理事	齊藤 滋宣	能代市長
専務理事	黒子 高夫	学識経験者（常勤理事）	理事	横山 忠長	にかほ市長
常務理事	水戸 憲光	学識経験者（常勤理事）	理事	松田 知己	美郷町長
理事	安保 富雄	かづの土地改良区理事長	総括監事	畠山 清俊	比内町土地改良区理事長
理事	安井 操	山本郡市川堰土地改良区 理事長	監事	鈴木 順平	八郎潟西部干拓地区 土地改良区理事長
理事	正木 正一	大内土地改良区理事長	監事	藤井 弘道	秋田県南旭川水系土地改良区 理事長

平成21年度

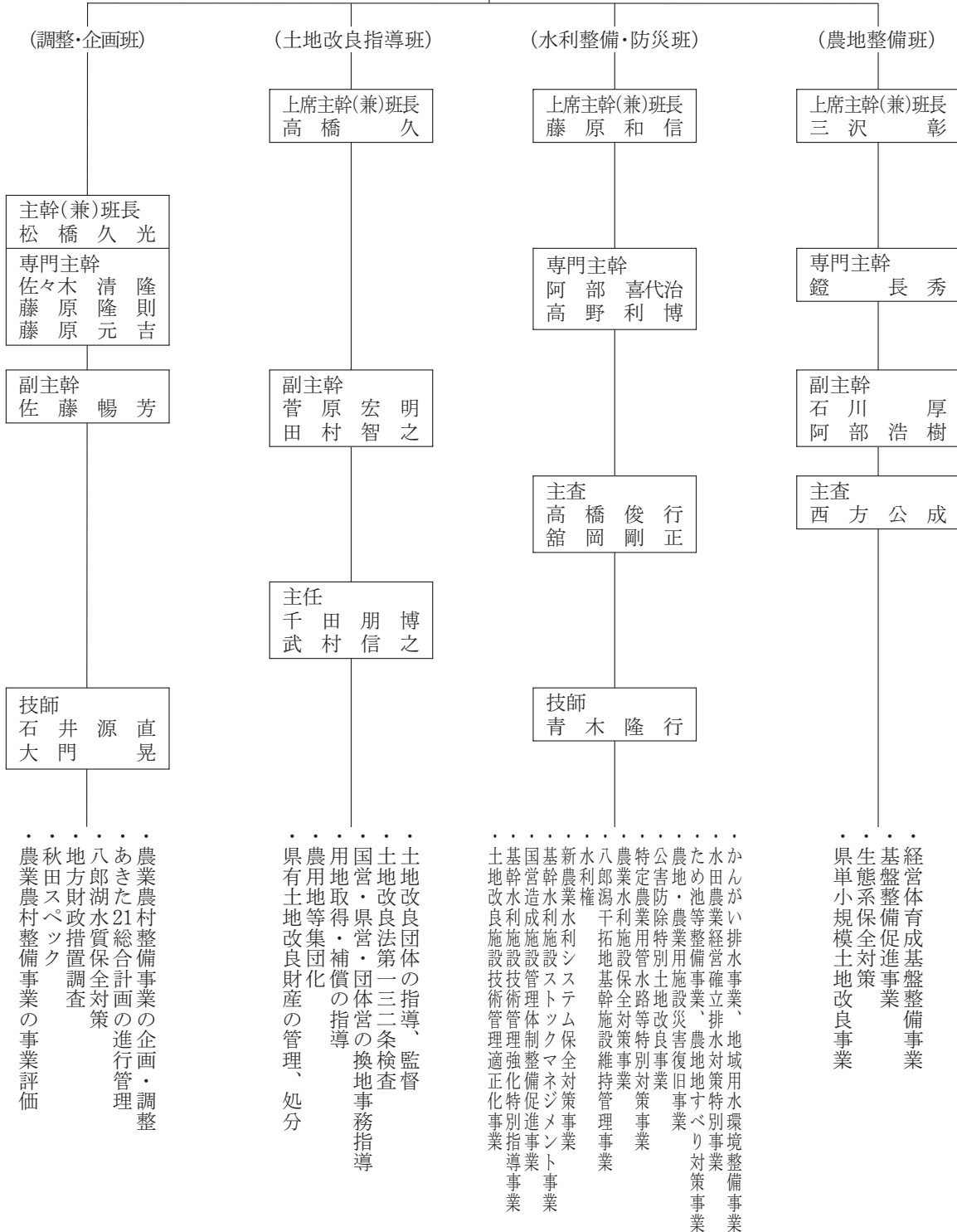
県の土地改良関係課事務分掌

(平成21年4月1日現在)

農地整備課

課長
村上克朗

事業調整監
佐々木次郎



農山村振興課

課長
長谷部 勝

(平成21年4月1日現在)

(調整・地域活性化班) (地域環境保全班) (農村整備計画班) (国土調査班)

主幹(兼)班長
石井 正幸

主幹(兼)班長
田村 敏一

主幹(兼)班長
下山 昇

主幹(兼)班長
畠山 信昭

専門主幹
佐々木 茂

専門主幹
袴田 鉄直

専門主幹
佐藤 忠廣
藤城 俊雄

副主幹
柴橋 和彰
草 彌 郁雄

副主幹
池田 裕一
渡部 桂

副主幹
石井 公人
高橋 篤史

副主幹
今泉 裕

主査
福司 健治

主任
齋藤 卓也
橋 公 司

技師
高橋 勝利
佐藤 恵一

技師
佐藤 則志

- 課内の調整
- 総合計画の進行管理
- 農山村活性化プロジェクト
- 山村振興対策
- 経営構造対策
- 農山村の起業活動支援
- 都市農村交流・グリーンツーリズム促進
- 中山間地域土地改良施設保全対策
- HP「美しき水の郷あきた」編集

- 中山間地域等直接支払制度
- 農地・水・環境保全向上対策
- 耕作放棄地再生利用緊急対策
- 農地有効活用促進支援事業
- 農村振興総合整備統合補助事業
- 中山間地域総合整備事業
- 農村総合整備推進事業

- 農業農村整備事業の調査・計画
- 国営土地改良事業の調整
- 農業農村整備事業管理計画

地籍調査

【県地域振興局】

各地域振興局長及び農林部長名等は次のとおり。

[鹿角地域振興局]
局長 藤田 俊吉
農林部長 柳原 守

[北秋田地域振興局]
局長 長岐 哲行
農林部長 藤原 正

[山本地域振興局]
局長 佐々木洋文
農林部長 金澤 千昭

[秋田地域振興局]
局長 石井 有良
農林部長 渡会 信紀

[由利地域振興局]
局長 藤原由美子
農林部長 本郷 礼三

[仙北地域振興局]
局長 保坂 進
農林部長 工藤 正義

[平鹿地域振興局]
局長 青木 満
農林部長 鈴木 誠

[雄勝地域振興局]
局長 竹村 寧
農林部長 (兼)竹村寧

平成21年度本会機構図及び職員配置

(平成21年4月1日付発令)

本会は、平成21年度の人事異動を4月1日付で発令した。事務局体制は3部11班2センター室とし、北南事務所は総務企画部の管轄となっている。また、協議会事務局として「秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会」、「秋田県耕作放棄地対策協議会」、「水土里情報利活用推進協議会」の事務運営を行うほか、総務企画部内に今年度から実施される「水土里ネット支援対策事業」担当を設置した。

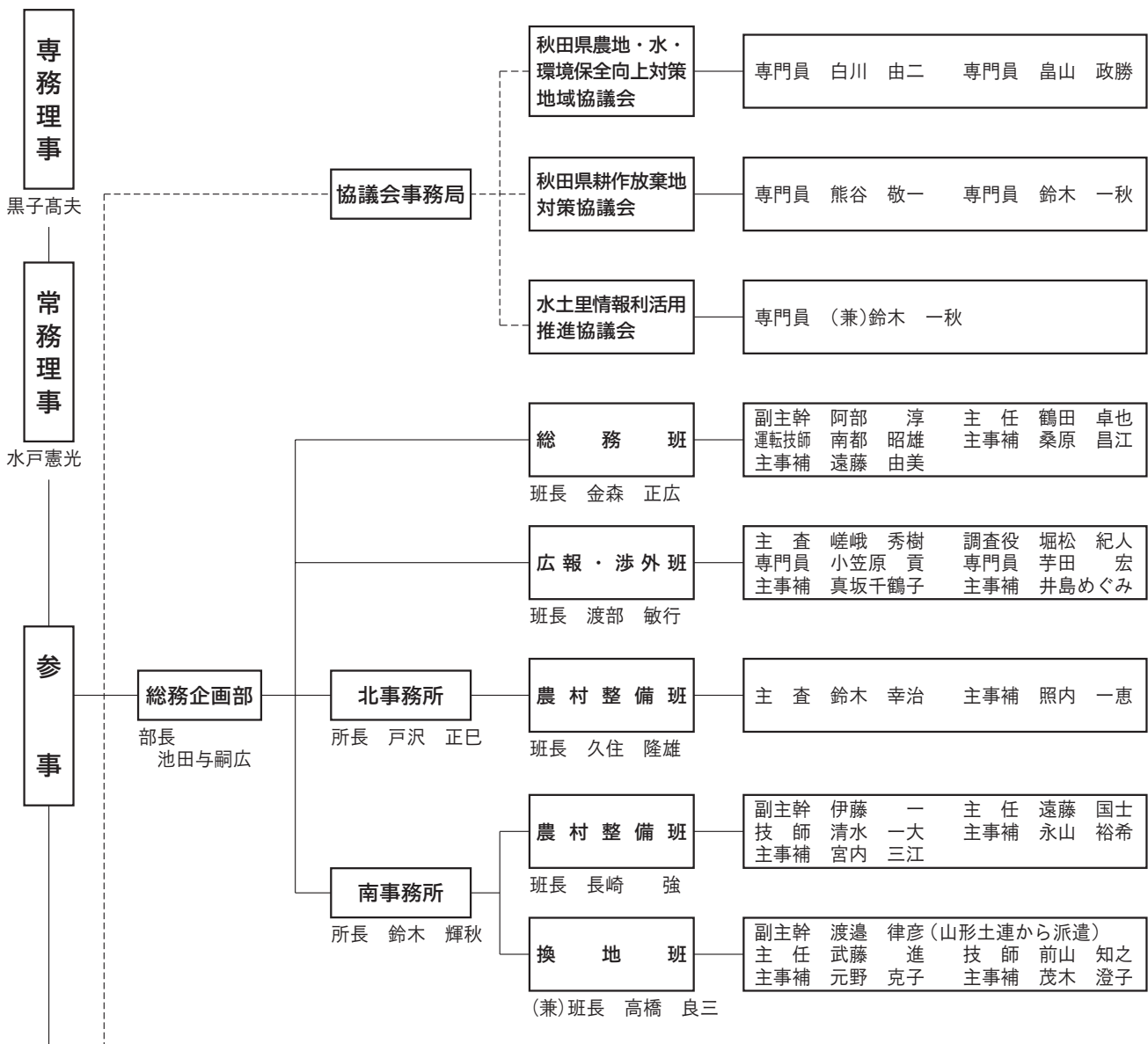
さらに、高度な専門知識・技術・能力を有し技術系の事務局を統括する「技監」職を新たに設け、各

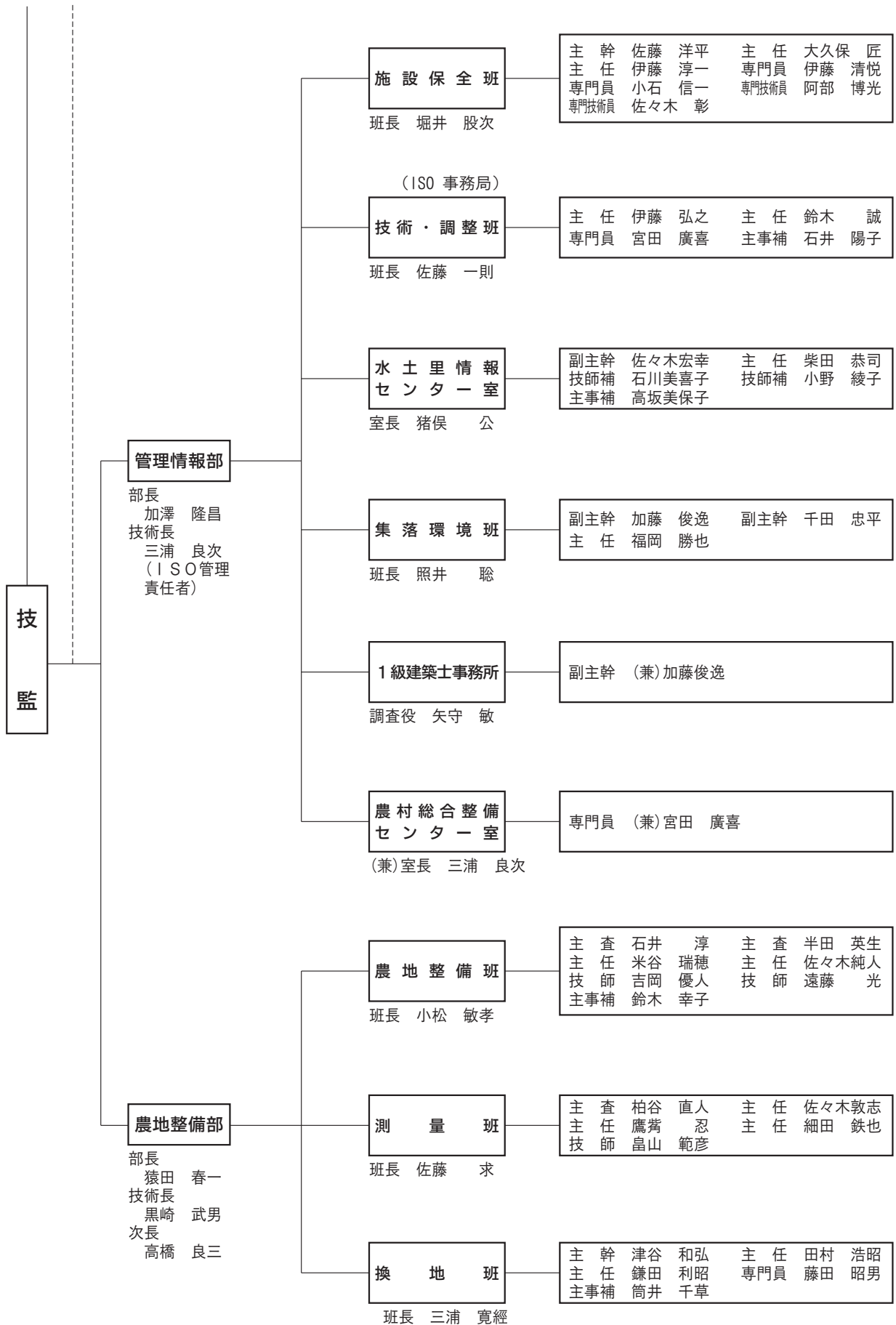
種の技術提案などにも機能的に対応できるよう組織体制の整備を図った。

なお、職員5名（水戸憲光、畠山政勝、鈴木一秋、小石信一、高野孝行）と嘱託職員5名（齊藤勉、尾張谷憲男、高橋光雄、福田正實、加登屋隆雄）が退職となったが、新規採用として2名の職員（遠藤光、清水一大）が加わった。

平成21年度の本会機構図及び職員配置は、次のとおり。

平成21年度秋田県土地改良事業団体連合会機構図





秋田県 農地・水・環境保全 向上対策地域協議会

■平成20年度第2回通常総会を開催

3月17日、秋田市(秋田県社会福祉会館)で「秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会」の平成20年度第2回通常総会が、28会員団体(会員数30団体)の出席で開催された。

総会は、三浦貞一地域協議会長(水土里ネット秋田専務理事)が「全国でもトップクラスの規模で展開し、2年を経過するところである。地域では農家はもとより、農家以外の積極的な参加によって交流が図られ、関係者間に一体感が生まれるなど、環境の美化と平行して農村に明るい笑顔が戻ってきたという声が至る所で聞かれ好評である。一方で、活動組織における取組の温度差とか、地域住民の合意形成の難しさ、事務処理の不慣れなど改善すべき点も明らかになってきた。こうしたことから、今後はリーダーを中心とした活動実績の検証、事業計画に沿った指導助言、地域住民並びに関係団体との連携、パソコン・経理事務の研修会等を実施し、できるものから改善していきたい。平成21年度は本制度の中間取りまとめを行う予定となっているが、この制度が長く継続していくには、広く県民に理解され高い評価を得ることは、私どもに課せられた当然の責務である。引き続き、各地域において活動組織とコミュニケーションを深め、ごく自然体で地域に定着するよう一層の協力をお願いしたい」と挨拶し、引き続き、提出議案について協議が行われた。

議事では、平成20年度事業計画の変更、平成20年度同対策(共同・営農・推進)に係る交付金の収支補正予算案、平成21年度事業計画案、平成21年度同対策(共同・営農・推進)に係る交付金の収支予算案、規約の改正案などが協議され、いずれも事務局提案どおりに承認された。また、人事異動等に伴い退任となった役員(三浦貞一会長、嵯峨峰芳副会長、吉田茂監事)について、報告があった。

【問い合わせ先】

秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会事務局
水土里ネット秋田 総務企画部内
TEL.018-888-2712 FAX.018-888-2834



平成20年度 農用地等集団化関係優良地区

功労者表彰受賞される

3月17日(火)仙台市「KKRホテル仙台」において、平成20年度農用地等集団化優良地区等表彰式が行われた。

表彰式では、平成20年度の農林水産大臣表彰

地区として、全国7地区のうち、東北管内では秋田県の種沢地区(雄和中央土地改良区)が受賞された。当地区は、負担団体である雄和中央土地改良区が中心となり、将来の集落営農及び法人化を見据え、優良農地の確保等について関係者の合意を図るなど、農用地集団化事業を推進した結果、85.1%に達成するとともに、担い手農家2戸と農事組合法人「種沢ファーム」を設立

し、地区内農地の68.7%が農作業の受委託を中心とした農用地の利用集積を推進したことの貢献により、農林水産大臣表彰となった。

また、引き続き全国農地集団化協議会及び東北農業農村整備推進協議会関係の表彰が行われ、秋田県からの優良地区及び功労者表彰は次の地区及び功労者が受賞された。

❖全国農地集団化協議会長賞 永年勤続者表彰
「大高 貢」(秋田県能代地区土地改良区)

なお、表彰式は6月開催される全国農地集団化協議会通常総会にて表彰の予定。

❖東北農業農村整備推進協議会長賞(農地集団化部会)

○優良地区表彰：◇鯉川地区(琴丘土地改良区)

◇井川東部地区(井川町土地改良区)◇土崎小荒川地区(美郷町千畑土地改良区)◇境町北部地区(秋田県南旭川水系土地改良区)

○功労者表彰：◇安藤一郎(雄和中央土地改良区)



平成20年度

雄物・米代川地域広域基盤確立 推進協議会

平成21年度事業計画及び収支予算案を承認

3月5日(水)秋田市「イヤタカ」において、平成20年度雄物・米代川地域広域基盤確立推進協議会が開催され、協議会委員及び幹事、事務局など関係者40名が出席した。

協議会は、高橋規男会長(秋田県仙北平野土地改良区理事長)の挨拶に続き、東北農政局整備部の小澤與宏部長が「水田農業と食料自給力」と題する基調講演を行った。講演では、東北地方の水田農業の現状を紹介しながら、現在進められている国の食料自給力向上に向けた農政改革の展開方向を説明し、土地改良区の役割や農村振興における期待などを講演いただいた。

その後、高橋会長を議長に選任し議事が進められ、平成19年度事業経過報告及び収支決算報告、平成20年度事業経過報告(中間)、平成21年度事業計画及び収支予算案などの提出議案はすべて承認された。また、役員改選も行われ、引

き続き、会長に高橋規男氏、副会長には鷲尾弘氏(秋田県能代地区土地改良区理事長)と藤井弘道氏(秋田県南旭川水系土地改良区理事長)が選任された。

また、国営事業及び県営事業の状況報告では、県内国営2事業所及び県農林水産部農地整備課の担当者から、各実施事業の概要などが報告された。



水土里ネットのIT化(通信情報網)に向けた支援の拡充

水土里ネット秋田では、会員水土里ネットのIT化(情報通信網)の推進・拡大と、本格的なGIS活用に向けた水土里ネット情報インフラ整備への支援として、会員水土里ネットのインターネット接続料(プロバイダーとの契約)の負担を今年度より拡充することといたしました。

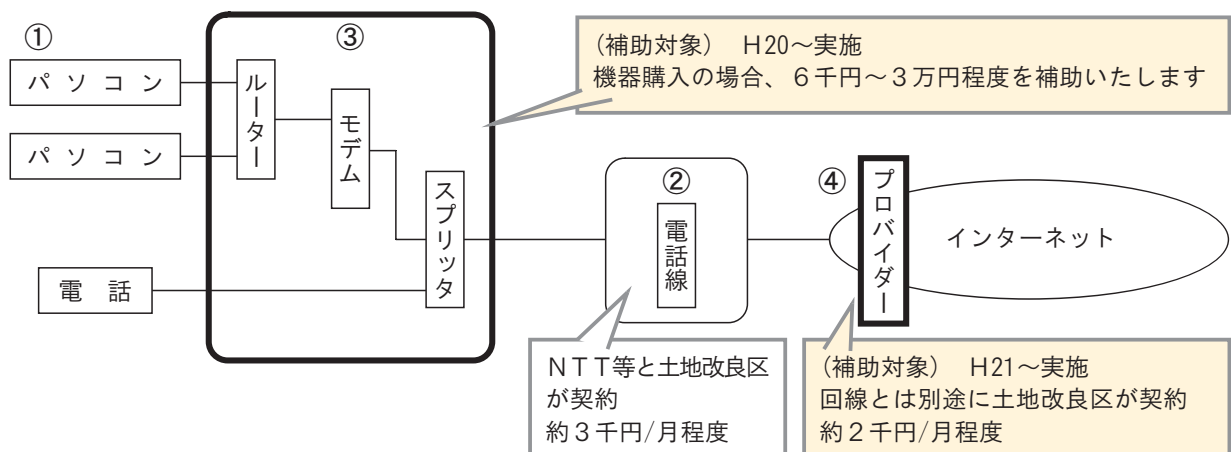
メリット

- ・電子メールでファイルや写真も送れる
- ・全土連ニュース等、読んだり投稿できる
- ・水土里情報(GIS)を行う場合、必須
- ・提出する様式などを送ってもらえる
- ・国、県、土地連等から情報が取得できる

■インターネットを始めるためには…

- ①パソコンが必要
- ②電話線などの回線契約が必要
- ③回線とパソコンをつなぐ機器が必要(補助対象)
- ④接続業者(プロバイダー)との契約が必要(補助対象)

【例】ADSLを使用したインターネットの図



■水土里ネットのインターネット接続状況(平成21年3月末現在)

インターネット接続(外部メール設定) 80/120(改良区) = 66.6%

■支援内容

- ・会員水土里ネットのインターネット接続に対して、月々のプロバイダー接続料を土地連が負担する。
- ・インターネット接続に係るその他経費は、各水土里ネットの負担とする。
- ・プロバイダーは、NTTコミュニケーションズ(OCN)との契約を予定。
- ・現在OCN回線利用の水土里ネットは請求先の変更。新規契約、他のプロバイダーからの利用回線変更は別途OCNとの契約が必要。

■支援スケジュール(案)

- H21.5 説明資料の作成(OCNとの協議)
- H21.6 広報キャラバン(各水土里ネットへの説明)、水土里ネットへの意向調査
- H21.7 支援事業の申込取りまとめ
- H21.8 運用開始

【問い合わせ先】水土里ネット秋田 総務企画部広報・渉外班 TEL 018-888-2742

連 合 会 日 誌

4月15日	第132回秋田県種苗交換会秋田市協賛会設立準備会調整会議	秋田市
4月17日	秋田県土地改良事業団体職員会秋田支部平成21年度通常総会	秋田市
4月17日	平成21年度秋田県土地改良事業団体連合会仙北支部全体会及び仙北土地改良推進協会総会	大仙市
4月22日	平成21年度秋田県水土里情報利活用推進協議会	本会「第1会議室」
4月22日	平成21年度第1回監事会・理事会・役員会	本会「第1会議室」
4月23日	平成21年度秋田県土地改良事業団体連合会鹿角支部全体会	鹿角市
4月24日	平成21年度土地改良換地対策全国協議会総会及び換地等促進担当者全国会議	東京都
4月24日	国による平成21年度耕作放棄地対策説明会	秋田市

..... 今後の行事予定

4月27日	平成21年秋田県耕作放棄地対策協議会通常総会	本会「第1会議室」
4月27日	秋田県土地改良事業団体連合会雄勝支部全体会	湯沢市
4月27日	秋田県土地改良事業団体連合会第5回大館・北秋田支部全体会	北秋田市
4月30日	平成21年度秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会第1回担当者会議	秋田市
5月12日	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東京都
5月12日	四角井戸落水式	由利本荘市
5月13日	平成21年度県営・団体営土地改良事業等調査計画担当者会議	仙台市
5月14日	平成21年度東北・北海道土地連第1回事務責任者会議及び第49回通常総会	宮城県

第50回全国土地改良功労者表彰式

全土連第51回通常総会

■本県から4団体、4個人が受賞

3月25日、シェーンバッハ砂防(東京都)で、第50回全国土地改良功労者表彰式、農業農村整備優良地区表彰式が開催された。

全国土地改良功労者表彰は、永年にわたり土地改良事業に尽力し功績が認められた土地改良関係者(優良団体、個人)が表彰されるもので、表彰式は毎年全国水土里ネット(全土連)の総会に併せて行われている。今回は、農林水産大臣表彰優良土地改良区が5団体、優良土地改良区表彰として金章35地区、銀章64地区、銅章45地区、土地改良区の役員及び職員など個人102名が表彰された。なお、本県からは金章の男鹿東部土地改良区をはじめ4団体、4個人が栄えある賞を受けた。

なお、本県関係で受賞された方々は、次のとおり。

○優良土地改良区

- (金章)男鹿東部土地改良区
- (銀章)能代市東土地改良区
- 由利本荘市矢島町土地改良区
- (銅章)大館市積内土地改良区

○個人表彰

- 伊藤俊雄(新城川土地改良区元理事長)
- 富岡 弘(大仙市鶯野土地改良区理事長)
- 齋藤 實(にかほ市土地改良区管理責任者)
- 武田孝雄(秋田県仙北平野土地改良区事務局長)



会員だより

水土里ネット秋田の動向 (活動報告)

事務所移転のお知らせ

- 森吉町土地改良区は、3月1日より下記のところへ移転しました。
(新住所)
〒018-4301
北秋田市米内沢字七曲51番地
(森吉構造改善センター)
TEL.0186-72-4250 FAX.0186-72-4260

新・市町村長就任のお知らせ

- 4月12日投開票が行われた県内市町村長選挙で、新たに下記の方々が就任されました。

秋田市長	穂積 志
北秋田市長	津谷 永光
男鹿市長	渡部 幸男
由利本荘市長	長谷部 誠
湯沢市長	齊藤 光喜
小坂町長	細越 満

新土地改良区の設立について

【湯沢市中央土地改良区】

昨年4月4日に合併予備契約を締結していた湯沢市の2土地改良区(湯沢市中央、秋田県雄勝町)が、新たに「湯沢市中央土地改良区」として3月18日にスタートしました。新土地改良区は、受益面積1,651ha、組合員2,108人。

- 新土地改良区
 - ・名称 湯沢市中央土地改良区
 - ・代表者 理事長 由利 傳
 - ・住所 湯沢市関口字道地26
 - ・電話 0183-78-0670
(旧湯沢市中央土地改良区事務所)
- 合併により解散した土地改良区
 - ・秋田県雄勝町土地改良区
 - ・湯沢市中央土地改良区

【会長職務の引き継ぎ】

4月10日、本会会長室で新旧会長が職務の引き継ぎを行った。高畑前会長、高貝新会長が顔を合わせ、引継書を手渡ししながら、重要事項等について確認。最後に、笑顔で握手を交わし、会長職務の引き継ぎを終えた。



【第1回監事会・理事会・役員会】

4月22日、平成21年度の第1回監事会・理事会・役員会を開催。監事会では、平成21年度監査計画、監事監査簿について協議。理事会では、処務規程や職員給与規程、職員退職金給与規程などの一部改正、農地有効利用支援補完整備事業実施規定の制定などを協議。

また、役員会では農業農村整備事業促進委員の選定について協議された。

種もみ蒔の頃同時に咲く 吉野桜と菜の花



秋田市の草生津川 4月中旬

インフォメーション

第7回「水土里のみちウォーキング」in 仁井田walk



- **開催団体** 〔主催〕水土里ネット仁井田堰、秋田県ウォーキング協会
 〔共催〕秋田県、秋田市、秋田市教育委員会、水土里ネット秋田、水土里ネット秋田支部
 〔主管〕水土里のみちウォーキングin仁井田ウォーク実行委員会
 〔協賛〕JA新あきた、秋田中央農業共済組合
 〔後援〕秋田県中央地区老人福祉総合エリア、秋田花まるっグリーンツーリズム推進協議会

- **開催日時** 6月21日(日)【ロングコース】8時30分出発式(8時～受付開始)
 【ショートコース】9時30分出発式(9時～受付開始)

- **開催場所** 秋田市四ツ小屋周辺(集合場所：秋田市御所野 老人福祉総合エリア内駐車場)

■ **コース**

① **ロング・コース 14km 「所要時間：約3時間30分」**

エリア駐車場(スタート) → 四ツ小屋幹線水路 → せせらぎ水路広場 → ヤブレ沼 → 秋雄大橋 → 本田橋 → 豊成橋 → 仁井田堰頭首工 → 保量神社(仁井田堰幹線用水路) → 白山神社 → エリア駐車場(ゴール)

② **ショート・コース 6km 「所要時間：約2時間」**

エリア駐車場(スタート) → 四ツ小屋幹線水路 → せせらぎ水路広場 → ヤブレ沼 → 白山神社 → エリア駐車場(ゴール)

- **参加予定** 約250名程度(ロングコース100名、ショートコース150名)
 - **参加費** 一般200円(傷害保険料等)、中学生以下は無料(幼児・児童は保護者同伴のこと)
 - **記念品** 完歩者には「お米」、「記念品」、「水土里のみち完歩認定証」をプレゼント
 - **申込〆切** 参加希望者は、ハガキに必要事項を記入の上、下記まで申してください。
 ①参加者氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号 ⑥参加コース(14kmまたは6km)
平成21年6月5日(金)必着：定員なり次第締切いたします(当日受付不可)
- 【**申込・問い合わせ先**】 水土里のみちウォーキングin仁井田ウォーク実行委員会(水土里ネット仁井田堰)
 〒010-1421 秋田市仁井田本町4-5-20 TEL.018-839-2504 FAX.018-839-2292

編集後記

「ながれ写真集」の発行について

今年も秋田県土地改良事業団体職員会の編集・発行による「ながれ写真集」を予定しております。関係の皆様には、資料の調査・報告等にご協力いただきますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

秋田県土地改良事業団体職員会
 (担当：総務企画部総務班 阿部)
 TEL.018-888-2714 FAX.018-888-2834

- ◆ 県内各地でも桜が見ごろを迎えています。これから日を追うごとに春本の装いとなりますが、ゴールデンウィークまでには葉桜になりそうな気配です。桜や花見といえば、もちろん花より団子。花見団子は江戸時代から花見の定番になっているとか。桜色(薄い赤色)・白色・緑色の三色が一般的で、桜色は桜を表して春の息吹を、白は雪で冬の名残りを、緑はヨモギで夏への予兆を表現してるそうです。忙しさと共に、食べ物の季節感が薄らいで来ているこの頃ですが、桜の下でゆっくりと春の風と味を堪能したいものですね。
- ◆ この3月末をもって10名の職員の方々が退職されました。また、高畑会長におかれましては15年間の会長職を退任されました。長きに渡り本会業務や運営にご尽力いただき感謝申し上げます。そして、今後益々のご活躍を期待しております。さて、今回から「秋田の土地改良」の一部を装いも新たにリニューアルいたしました。今まで以上に内容の充実を図り、見やすくタイムリーな情報誌を目指して行きたいと思っております。昨年、本会は創立50年の節目を迎えました。この「秋田の土地改良」も気持ちを新たに、一歩一歩前進して行きたいと思っております。皆さんからのご意見・ご感想をお持ちしております。(広報・渉外班◇嵯峨記)